

011

From Editor

013

表紙の時計／バルミジャーニフルリエ「トリック エミスフェール レトログラード」

014

Editor's Choice!

024

世界は時計で回っている。

026

パテック フィリップ 2017年新作

032

デザイン、カラー、サイズ——多様に時代の流れを反映した新作

034

オーデマピゲの複雑時計の歩みの一端を知る

036

ブレゲ「マリオン エクアシオン マルシャント 5887」

038

ジャケ・ドロー「ラビング・バタフライ・オートマートン」

040

ルディ・シルヴァ「RS 12」&「RS 16」

042

ジュラ山脈地方の時計作りの歴史を尊重し地道に歩む

044

ウブロ「フェラーリ テクフレーム」

046

密なるパートナーシップが生んだフェラーリ70周年記念モデル

048

ショパール「LUC ヘリテージ グランクリュ」&「LUC XPS」

053

初代LUCキャリバーを軸にデザインで進化を遂げた新作

【特集】

## A.ランゲ&ゾーネの現在

1世紀を経て変わることのない鮮烈な美しさ

復興からすでに四半世紀が経過したドイツ・グラスヒュッテの名門はこの間に工房の増設、従業員数の増加、製品バリエーションの拡大など、広範な発展を遂げてきた。もちろんこの間にはムーブメントや製品の見直し、改良も行われた。今日の製品ファミリーと特別モデルを中心に、A.ランゲ&ゾーネの現在をみていきたい。

|     |                                                                             |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 078 | オメガシーマスター アクアテラ マスタークロノメーター                                                 |
| 080 | 性能とデザインを進化させた主軸コレクション                                                       |
|     | パネライ グリーンダイアル & ルミノール ドウエ                                                   |
| 082 | ミリタリーのルーツを残しながら、スタイリッシュな表現を試みるパネライ<br>ブローバのニューモデル                           |
| 084 | ブローバ専用の高振動クォーツ・ムーブメント搭載モデル<br>ファールブル・ルーヴァ ビバーク 9000                         |
| 086 | 伝説的高度計搭載モデルのDNAが進化を遂げて甦った<br>レイモンド・ウエイルのコラボレーション・ウォッチたち                     |
| 088 | ザ・ビートルズ／バディ・ホリー／デヴィッド・ボウイ／ギブソン・レス・ポール<br>ラドートウルー デザイナーシリーズ                  |
| 091 | 色の变化で、移ろう時々を表現したラドートウルー シャドー                                                |
| 092 | ボール ウォッチ エンジンニア ハイドロカーボンブルグル 耐衝撃性をさらに追求した新機構装備の新作が登場<br>カシオ オシアナス OCW2000-G |
| 094 | 「地球上のどこでも正確な時刻を表示する時計」を目指して<br>シチズン エコドライブ・ワン                               |
| 096 | 極薄のなかに込められたシチズン流技術開発<br>新製品情報                                               |
| 101 | ブルガリ オクトフィニッシュモトリロジ 発表会 3つのユニークピースと坂本龍一がとらえた「時の音」                           |
| 102 | リシャール・ミル サロン心斎橋 アヴァンギャルドな世界観を伝える路面店がオープン                                    |
| 103 | リシャール・ミル サウンドオブ・エンジン & ディアファミリー 2017 往年のレーシングマシンのエンジン音に包まれた2日間              |
| 104 | ウブロ ティック京都 ウサイン・ボルトと共に祝ったグランドオープン                                           |
| 105 | ロックマン銀座 旗艦店からイタリアン・ウォッチの魅力の発信を強化                                            |
| 106 | ハミルトン ブティック 東京キャットストリート ハミルトン グローバル旗艦店第二号が原宿にオープン                           |
| 107 | カミューフォルネ モダンにリニューアルを果たしたレザー・グズ・メゾン                                          |
| 108 | モンブラン ヴェトロモント ニュ高野山 2017 紅葉の高野山を走り抜けたヒストリック・カーたち                            |
| 109 | タグ・ホイヤー 世界を旅するホイヤー ヴィンテージ エキシビジョン アーカイブ・ピースが語ったホイヤーの歩み                      |
| 110 | ファールブル・ルーバ ビバーク 9000 発表会 9000mの高度計を実現したフロンティア精神をアピール                        |
| 111 | ラドートウルー デザイナーズコレクション 発表会 ファッション・デザイナーの森永邦彦氏が考える、時                           |
| 112 | 120 インフォメーション／問い合わせリスト／次号予告                                                 |



パテックフィリップ 2017年新作

## デザイン、カラー、サイズ——多様に時代の流れを反映した新作

パテックフィリップは今年、薄型自動巻きキャリバー240の40周年、スポーツタイプ・ウォッチの「アクアノート」20周年を迎えた。バーゼルワールドではそれぞれに周年を記念したモデルを発表するとともに、多くの新作が登場した。そのなかから9点を取り上げた。



「永久カレンダー Ref.5320」。直径40mmの18Kホワイトゴールド・ケースに自動巻きのCal.324 S Q(29石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約45時間)を搭載する。クリーム色のラッカー文字盤の12時位置の小窓に月と曜日表示、6時位置にムーンフェイズと日付、4時30分位置に閏年表示、7時30分位置に昼夜表示を備える。サファイアクリスタル・バックと交換可能なフル・バックを付属。3気圧防水。価格902万円。



「カラトラバ・スケルトン Ref.51801」。直径39mmの18Kローズゴールド・ケースに、彫金細工を施したマイクロローター式の自動巻きスケルトンのCal.240 SQU(27石、毎時2万1600振動、パワーリザーブ約48時間)を搭載する。ローターの中央にはパテック フィリップ シールが刻印される。サファイアクリスタル・バック。3気圧防水。価格1075万円。



「カラトラバ Ref.6006」。直径39mmの18Kホワイトゴールド・ケースにマイクロローター式自動巻きのCal.240 PS C(27石、毎時2万1600振動、パワーリザーブ約48時間)を搭載する。4時30分位置にスモールセコンド、文字盤外周に日付表示を備える。サファイアクリスタル・バック。3気圧防水。価格334万円。

### 永久カレンダー Ref. 5320

パテックフィリップは1940年代から50年代にかけてのスタイルをベースとした、古き良き時代を彷彿とさせるデザインを、コンテンポラリー・ビンテージ・スタイルと名付けたが、この永久カレンダーもそのひとつ。特に「マリナー・スタイル」と呼ばれる針と、インデックスの書体は1950年代のビンテージ・ピースに着想を得たもので、今回初めて採用された。三重の段差をもつラグやクリム色のラッカー文字盤もビンテージ感がある。

ムーブメントは2004年にデビューしたCal.324に永久カレンダーのモジュールを装備した新作で、同キャリバーの49個目のバリエーションとなる。

### カラトラバ・スケルトン Ref. 5180

マイクロローター式の薄型自動巻き、Cal.240の40周年を記念したモデルで、ローターには初めてPPシールが刻印された。

カラトラバにCal.240 SQUを搭載するスケルトン・モデルが初めて登場

したのは1981年で、直径31mmの18Kイエローゴールド・ケースが採用された。その後、2008年に直径39mmの18Kホワイトゴールド・ケースに同キャリバーを搭載したモデルが登場。今年の新作では初めて18Kローズゴールド・ケースが採用された。

ムーブメントの繊細なカットインクや手作業による緻密な彫金細工を施したスケルトンは、伝統的な技法を今に伝えるものである。

### カラトラバ Ref. 6006

2005年に発表され、2007年、2011年、2015年にバリエーションが登場した6000系が一新された。旧作の直径37mmは39mmに拡大され、また長短針と日付針のデザインにも変化がみられる。長短針は先端が平たいバタタイプになり、日付け針の先端は弧を描いていたが、三角形に変更された。文字盤はエポニーブラックで、時のインデックスの内側の円にはソレイユ、その外側とスモールセコンドには同心円模様が施される。キャリバー240を搭載する。



カルティエ「タンク」100周年

# 1世紀を経て変わることない鮮烈な美しさ

カルティエの時計を代表する「タンク」が誕生から100年目を迎えた。腕時計草創期、ルイ・カルティエは彼独特の美学によって1904年には「サントス」、1917年には「タンク」を生み出した。幾何学的な造形美をもつタンクは時の流れを超越して美しい。



1917年のデザインに基づいて1919年に製造されたオリジナル・モデル。18Kゴールドのケースにルクルト製の9リーニュ(20.2mm)の手巻きムーブメントを搭載した。ケースの両サイドに平行に置かれた建枠、それを結ぶ水平のライン、ブラックのローマ数字インデックス、線路状の目盛、サファイアアカボシとパール状の飾りをつけたリュウズという特徴をもつ。 Photo/Archives Cartier ©Cartier

第一次世界大戦の真っ只中の1917年、ルイ・カルティエは腕時計「タンク」を創造した。この時計が実際に製品化されたのは1919年のことで、戦争の終わりを待たなくてはならなかったことになる。記録によるとこの年には11月から12月に6個が作られ、パリのブティックに並んだという。その後、1969年までに総計5829個のタンクが販売され、これは同時期にカルティエが製造した腕

時計のおよそ4分の1を占めた。この数字をみても、カルティエにとってタンクは極めて重要な存在であり、ルイ・カルティエの偉大な遺産であることがわかるだろう。

タンクは英語ではもともと「貯水槽」のことだが、フランス語では「戦車」を意味する。戦争中、フランス軍は戦車隊の力によってドイツ軍を敗北に導いた。戦場に初めて登場した、それまで誰も目

にしたことがないマシンをフランス軍はコードネーム「タンク」で呼んだのだった。ルイ・カルティエは戦車のダイナミックなフォルムや時の循環を思わせるキャラピラの無限軌道に惹かれたのだろう。こうして彼は力強い直線で囲まれた腕時計「タンク」をデザインした。

真っ直ぐに伸びた縦枠はストラップを取り付けるアタッチメントでもあり、ケースとラグが一体化された。文字盤には線路状の分目盛が記され、その上にローマ数字のインデックスがバランスよく置かれた。またリュウズにはサファイアアカボシがセットされた。このような特徴は今日も頑なに守られている。

1920年代に入ると、タンクにはバリエーションが生まれた。まずカーブを描くレクタングュラー・ケースの「タンクサントレ」が誕生し、さらにスクエアに近いプロポーションのレクタングュラーの「タンク ルイカルティエ」が登場した。同じ頃、女性に向けた小ぶりのタン

クも作られるようになった。

ところでカルティエは1960年代後期には4代にわたって続いたファミリー・ビジネスに終止符を打ち、投資家グループに事業を売却した。しかしその後もタンクの歩みが途絶えることはなかった。1977年には一般の人たちにも比較的、手が届きやすい価格帯で発売した「レマストドゥカルティエコレクション」にタンクも登場し、人気を博した。

しかし1980年代に入ると、再び創造の原点に立ち返り、1989年には「タンクサントレ」に着想を得た「タンクアメリカン」が発表された。以後、「タンクフランセーズ」や「タンクアングレーズ」など、タンクに新たな解釈を加えたクリエイションも続いた。

100周年を迎えた今年はムーブメントでも対称の美を表現した「タンクサントレ」スケルトンウォッチをはじめ、3つのラインで新作が加わった。その概要をみていこう。





# A.ランゲ&ゾーネの現在

A.ランゲ&ゾーネが復興してすでに四半世紀が過ぎた。ドイツ・グラスヒュッテの高級時計製造に再び光を当て、ブランドの象徴であったウォルター・ランゲ氏は今年1月に92歳の生涯を終えた。第2次世界大戦から東西ドイツの壁が崩壊するまで、激動の時代を過ごしてきた彼にとって、今日の成長は満足できるものだったにちがいない。発展を遂げるA.ランゲ&ゾーネを製品を中心に見てみよう。



## 「1815 アニュアルカレンダー」

今年のSIHHで発表された新作で、A.ランゲ&ゾーネの年次カレンダー・モデルとしては“サクソニア”に次いで2作目。前作よりもパワーリザーブが延長され、またカレンダー調整も改良された。ケース径40mm。価格490万3200円(搭載するCal.051.3の詳細はP69に掲載)。

Photo/Yoshihisa Kumagai(P70~P71), Takenori Aoki(WPP/P57,P59,P61,P63,P65),  
Courtesy of A.Lange & Söhne Text/Hiromu Takizawa(P70~P71), Tomoko Kayama(WPP)



# 伝説的高度計搭載モデルのDNAが進化を遂げて甦った

1737年創業という時計界屈指の歴史を誇り、1950〜70年代には個性的なスポーツ・ウォッチで一時代を築いたファールブル・ルーバ。当時を象徴するモデルのひとつ『ビバーク』を着想源に、進化を遂げた新作『レイダービバーク9000』の機構と魅力を検証する。

取材文／松岡彌靖



1962年に発売された“ビバーク”のオリジナルモデル。3000mまでの高度計と気圧計を搭載した、世界初の腕時計だった。イタリア人登山家・ワルテル・ボナッティとスイス人ガイドが、険阻なウインナー峰に世界初登頂を達成した際に着用し、脚光を浴びたエピソードも。

作はマットなストーングレーに仕上げられた、直径48mmのピロー型ケースを採用している。高度計測の微調整や気圧変化を知る際に便利なアルミニウム製双方向回転ベゼルを備え、その内側にはアイコニックな14角形ベゼルが配置されている。ファールブル・ルーバが一時代を築いた60〜70年代を意識したデザインと言うことができる。

搭載されているキャリバーFL311は、エテルナ製キャリバーEMC3903Mをベースとしており、21石、毎時2万8000振動で、約65時間のパワーリザーブを持つ。文字盤の12時位置にパワーリザーブ・インジケーターを備えている。

高度／気圧計用のモジュールは裏蓋側に設置され、高度と気圧は赤で彩られた3時位置のカウンターとセンター針とで表示される。3時位置の針は1000m単位で0〜9000mまでの高度と、それに対応した気圧を表示。これに連動するセンター針は、1000m以下の高度

を読み取れるようになっており、360度で3000m分を示す。つまり3回転で9000mに達するように設計されている。地上最高峰のエベレストは海拔8848mだから、地球上のあらゆる地点に対応可能との触れ込みだ。

ビバーク9000が搭載する気圧計は、オリジナルの「ビバーク」と同じく、密封カプセルによるアネロイド式を踏襲している。ただ、カプセルの形状や、銅を主体とする特殊合金などは現在の技術でアップデートされ、60年代当時の3000mから、3倍の9000mにまで計測可能範囲が広がった。

このカプセルの膨張／収縮幅は、わずか0.4mmだという。この極めて微細な動きを、センター針にして3回転分の動きに変換することも、大きな課題だったようだ。開発責任者のパトリック・キュリー氏によれば「通常、腕時計では用いられない特殊な形状の歯車を開発。比率を厳密に計算した4つの歯車を採用し実

1962年、世界初的高度計と気圧計

を搭載した腕時計「ビバーク」が、ファールブル・ルーバから発売された。内部を真空にした円盤状の特殊な金属製カプセルをケース内に備え、気圧の変化による膨張／収縮を、文字盤上のカウンターに連動させた、アネロイド気圧計が採用されていた。これにインスパイアされ、創業280周年を記念する、9000mまでの高度計と気圧計を備えた進化型モデルとして発表されたのが「レイダービバ

ーク9000」である。

ちなみに、ファールブル・ルーバの現行コレクションは、スポーツタイプのリイダーと、クラシックタイプの「チーフ」の2ライン構成となっている。この新作は前者に位置づけられるものだ。

「ビバーク9000」の「肝」というべき高度計／気圧計の要諦に触れる前に、外装や基本構造について、押さえておきたい。1962年のオリジナル「ビバーク」はラウンドタイプだったが、この新



(右)「レイダー ビバーク 9000」直径48mmのチタニウム製ケースに、手巻きのCal.FL311 (21石、毎時2万8800振動)。パワーリザーブ約65時間)を搭載する。ベースとなっているキャリバーは、エテルナ製EMC3903M。気圧計測用金属カプセルをセンターに備えるモジュールを設置するのに、このキャリバーが適していたという。極限環境に於いても視認性が確保できるよう、文字盤を広く取り、スーパールミノバを塗布したための時分針やインデックスを採用している。ケースの質感や色調に合わせた、ウシ科のレイヨウの革を用いたアンテロープレザーストラップがセットされている。3気圧防水。価格91万8000円。  
(上)ケース左サイドのネジ止めされたプレートでカバーされた箇所、直径約3mmの吸気口が設けられている。プレート脇のベントから、吸気口を通じて内部に空気を取り込むことで、密封カプセルが膨張／収縮し、気圧と高度を計測できる。この吸気口には、特殊な疎水性微細穿孔膜が取り付けられ、空気は通しながら、水分や埃を通さない工夫が施されている。これにより、3気圧の防水性が実現された。

現した」そうである。

また3気圧の防水性が保証されていることも、オリジナルからの大きな進化だろう。ケース内に空気を入れて密封カプセルを膨張／収縮させる必要があるため、通気口の存在は不可欠だ。ケースサイドに直径約3mmの通気口を設け、これを薄く丈夫な疎水性微細穿孔膜で覆うことで、防水性や防塵性が実現されている。この膜は、本来、自動車のヘッドライト用に開発されたものだったが、その特性に着目し、採用に至ったという。

最後に、双方向回転ベゼルの使い方に ついて、つけ加えておきたい。たとえば3500m地点のベースキャンプに到着し、翌朝出発の際、高度計の針の位置が3500m地点からややずれている場合がある。これはその地点に於ける気圧変化によるものだ。そこで、回転ベゼルを使って正確に3500m地点に合わせれば、改めて正確な高度計測が可能となる。また、キャンプで一夜明けて、気圧が減少していれば天候悪化に、気圧が増加していれば好天に向っているなど、天候の傾向も知ることができる。

まさにプロファッショナルのための計器として甦った「レイダービバーク9000」。伝統に根差しながら、進化を遂げたファールブル・ルーバならではのモデルの誕生を歓迎したい。



## レイモンド・ウエイルのコラボレーション・ウォッチたち

### ザ・ビートルズ／バディ・ホリー／デヴィッド・ボウイ／ギブソン・レス・ポール

1976年にジュネーブで創業したレイモンド・ウエイルは今日まで創業者一族によって経営が続けられている。そして彼らは大の音楽愛好家で知られ、音楽関連で多くのサポートを行っている。もちろん製品にも音楽は欠かせず、楽しい新作が登場した。



マエストロ・ビートルズ・アビイロード・リミテッドエディション。価格は19万9800円で、3000個の限定生産。

#### マエストロビートルズアビイロード・リミテッドエディション

シンプルなデイトつきスモール・セコンドのマエストロ・コレクションをベース・ウォッチに使っているのが、このザ・ビートルズ・ウォッチ。言うまでもなく、アビイロードはビートルズのオリジナル・アルバムのタイトルで、文字盤にレコード盤をイメージさせる針溝がつけられるとともに、4時位置には収録を行ったEMIスタジオ前のアビー・ロードを横切る4人の姿が描かれる。このほか、ダイアル中央とシースルー・バックにはビートルズのロゴタイプがプリントされる。

5気圧防水のケースは39・5mmで、SW200をベースとする自動巻きのCal. RW4200（26石、2万8800振動、パワーリザーブ約38時間）を搭載する。

#### マエストロリミテッドエディション・バディ・ホリー

同じく、Cal. RW4200を39・5



マエストロ・リミテッドエディション・バディ・ホリー。価格は19万9800円で、500個の限定生産。



フリーランサー・リミテッドエディション・デヴィッド・ボウイ。価格は22万6800円で3000個の限定生産。



フリーランサー・リミテッドエディション・ギブソン・レス・ポール。価格は37万8000円で、400個の限定生産。

mmケースに積み込んだマエストロをベースに使用しているのが、ロックンロールの第一次全盛期にあたる1950年代後半に活躍したバディ・ホリー・モデル。ちなみに、メビー・ベイビーやベギー・スーは彼のバンド、バディ・ホリー&ザ・クロケッツの代表曲である。

主な変更点はスモール・セコンドで、バディ自身が好きだったパール・ブルーにペイントされると同時に、針の後端にはトレッド・マークであるメガネが取り付けられる。また、彼のラッキースター・ナンバーである「9」を使ったインデックスが大きなローマ数字でセットされており、文字盤中央にサイン、シースルー・バックにもサインと肖像が描かれる。

#### フリーランサー・リミテッドエディション・デヴィッド・ボウイ

10気圧防水を装備したスポーツティなフリーランサー・コレクションもベース・モデルに使われる。まず、42・5mmのケースにCal. RW4200を搭載した

シンプルなか3針モデルに手を加えたのが、グラムロックの牽引者として知られるデヴィッド・ボウイ・モデルだ。

レコード盤を思わせるサーキュラー模様が描かれたブラック・ダイアルが特徴で、12時のインデックスがトレッド・マークのイナズマに変更されるとともに、中央にはアンディ・ウォーホルが考案したボウイのゴタイプがプリントされる。いっぽう、ケースバック全面には、写真家のテリー・オニールの作品である彼のポートレートがプリントされる。

#### フリーランサー・リミテッドエディション・ギブソン・レス・ポール

同じくフリーランサー・コレクションの中からETA7753をベースに使ったデイトつき自動巻きクロノグラフ、RW5010（27石、2万8800振動、パワーリザーブ約46時間）を搭載したのが本機である。1952年から製造が続き、伝説のギターと言われるギブソンのレス・ポール・モデルとのパートナーシップにより誕生した。

その特徴はブラックPVD加工が施された直径43・5mmのケースと、ギターの6本の弦をイメージさせる円周が描かれた文字盤で、さらに12時位置には両者のロゴタイプが並べてプリントされるとともに、シースルー・バックにも大きなギブソンのロゴタイプが入られる。

## 【次号予告】

# 2018年 新作情報 「ジュネーブ編」

2018年1月15日から19日までの5日間、第28回SIHHが開催されます。今年にはジラルール・ペルゴとユリス・ナルダンが参加しましたが、来年は新たにエルメスがSIHHで新作を披露します。小規模な独立系ブランドが集まる「カレ・デ・ゾルロジエ」にはさらに出展ブランドが増え、活況を帯びることでしょう。このほかウォッチランドでもWPHHが開催され、ボヴェ、F.P.ジュルスなどがそれぞれ新作発表会を開催します。さて、来年はどのような新作が時計愛好家たちをワクワクさせてくれるのでしょうか。例年どおり、ブランド別に新作を紹介します。

## 「話題の新作をレポート」

モリッツ・グロスマンの「アトム・デイト」、ヴァシロン・コンスタンタンの「ヒストリーコレクション」など、2017年以内に発表された新作のなかから興味深いモデルを取り上げます。

「世界の腕時計」第135号は2018年3月8日発売です。

## 世界の腕時計 定期購読のご案内

### 毎号、送料無料でお届けします！

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方  
便利な定期購読を是非ご利用ください。  
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

#### 【年間購読料】

1年間(年4冊) **6,584円(税込)**  
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



#### 【お申し込み方法】

- お電話で(年中無休24時間受付) **0120-223-223**
- インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoutedokei>
- 携帯電話から <http://223223.jp/m/sekainoutedokei>
- QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

#### 【お問い合わせ】

富士山マガジンサービスカスタマーセンター  
パソコンサイト: <http://fujisan.co.jp/cs>  
メールの場合: [cs@fujisan.co.jp](mailto:cs@fujisan.co.jp)  
に、お問い合わせください。

#### ■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンサービスとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

お詫びと訂正: 第133号のP24 に下記の誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

2段目16行目の文中、(正)手巻きクロノグラフ、(誤)自動巻きクロノグラフ。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス ホームページ <http://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1163

# 世界の腕時計

No.134

平成30年 1月15日発行

発行人……………今井今朝春

編集人……………香山知子

発行所……………株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

編集部……………☎03-5385-5667 FAX.03-5385-5617

広告営業部……………☎03-5385-1350 FAX.03-5385-1348

販売部……………☎03-5385-5701 FAX.03-5385-5703

印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら  
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。